

11月5日は
津波防災の日

「犠牲者ゼロ」を目指す 黒潮町の南海トラフ地震対策



川田 和徳

高知県黒潮町情報防災課 南海地震対策係長

黒潮町の概要

- ・ 黒潮町は、平成18年に高知県幡多郡「旧佐賀町」「旧大方町」の合併により誕生。
- ・ 四国／高知県の中でも西南に位置。
- ・ 面積188平方キロメートル。
- ・ 人口 12,221人（男 5,798人、女 6,423人）、
世帯数 5,695世帯
15歳未満の年少人口 1,083人（8.9%）
65歳以上の高齢人口 4,737人（38.8%）
- ・ 延長約35kmの美しい海岸線を有する



11月5日は
津波防災の日

黒潮町の概要

私たちの町には美術館がありません。美しい砂浜が美術館です。



Tシャツアート展



シーサイド
はだしマラソン全国大会



ホエールウォッチング

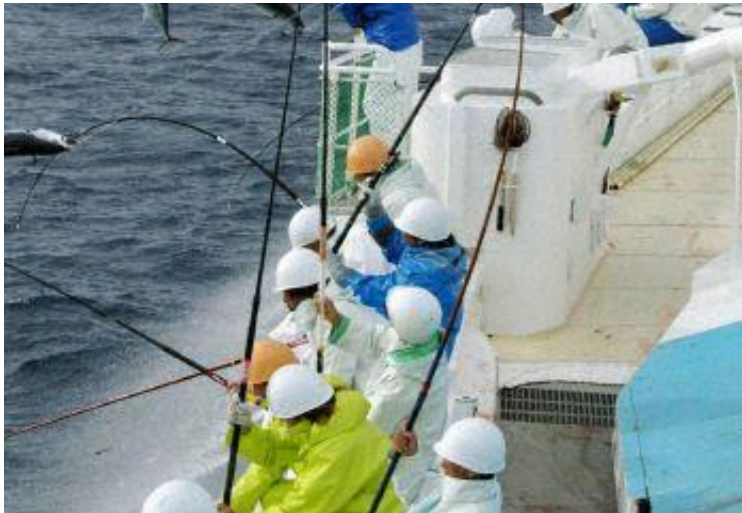
11月5日は
津波防災の日

黒潮町の概要

高知県のカツオの約63%が黒潮町で水揚げされる



美しい豊かな海の恵みに満ちた町です。



カツオの一本釣り



カツオのぼり

最大クラスの南海トラフ地震の想定によると…

- 
- ✓ 最大震度「7」の揺れが2～3分継続
 - ✓ 津波到達（1m）8分、最大津波高 34m
 - ✓ 広範囲な液状化も懸念
 - ✓ 物的被害（建物被害）6,300棟
 - ✓ 人的被害 2,300人
 - ✓ 1日後の避難者数 10,000人
 - ✓ 町内全61集落のうち、40集落が津波被害の可能性

地域住民から「あきらめ」の声が・・・
“避難放棄者”を多く生み出す危機感

「犠牲者ゼロ」を目指す地震対策

【4/2】町長訓示

【4/14～19】被災地
ヒアリング

【5/10】第1次「地震・
津波防災計画の基本的な
考え方」公表

【5月～】防災地域担当制始動

(ミッション2)

【9月】避難訓練（地域ごとに住民と地域
担当職員の合同開催）

【10～12月】地区別懇談会（見直し結果
及び対策について報告及び協議等）

第3次「地震・津波防災
計画の基本的な考え方」

(ミッション1)

【6月～8月】各地域でのワーク
ショップ及び避難経路・避難場
所点検（156回、4,634人参加）
避難経路295箇所、避難場所
168箇所の整備が必要

【1/31】第2次「地震・津波防災
計画の基本的な考え方」公表

(ミッション3)

【2月】戸別津波避難カルテづくり
地元説明会
【3月～1月】班別懇談会
（戸別津波避難カルテ作成）

(ミッション4)

【7月～】地区防災計画策定に
向けた取り組み
（平成26～27年度）
※住民主体の新たな取り組みへ
シフト

2012

2013

2014

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	----	----	----	----	----

「犠牲者ゼロ」を目指す地震対策①

戸別津波避難カルテづくり

避難行動が困難な住民に対しては、
一人ひとりに合わせた個別の避難計画、
自動車避難のルールなどが必要である。

まずは、基礎的状況の把握として
全住民の避難行動調査を実施

全61集落のうち、浸水の可能性がある40集落
において、10～20世帯の班別懇談会を開催

世帯別津波避難行動記入シート

記入のしかた

太枠内の設問

家族構成

役場記入欄

地域名	班	世帯NO	カルテ年度

■ご家族の情報を記入してください。

番号	お名前 (○印:代表者)	性別	年齢	ご自分で避難 ができますか	(自力避難できない場合) 家族の力で避難可能ですか
1	○ 黒潮 太郎	男	40 歳	できる・できない	できる・できない
2	黒潮 花子	女	42 歳	できる・できない	できる・できない
3	黒潮 一郎	男	12 歳	できる・できない	できる・できない
4	黒潮 ハル子	女	80 歳	できる・できない	できる・できない
5				できる・できない	できる・できない

自力(家族)避難の可否

■連絡先を記載してください。

第1連絡先 0880-**-**** (自宅の固定電話)
第2連絡先 090-**-**** (黒潮太郎の携帯電話)
第3連絡先

連絡先

■津波避難の情報を記入してください。

番号	津波避難場所		避難訓練参加状況	
	第1候補	第2候補	いつ頃	避難にかかった時間
1	黒潮集会所	黒潮神社	H23年度頃	12 分程度
2	"	"	H24年度頃	14 分程度
3	"	"	"	14 分程度
4	"	"	不参加	- 分程度
5				分程度
6				分程度
7				
8				

避難先と所要時間

■現在考えられている津波避難の方法を記入してください。

番号	どのような方法で避難を考えていますか
1	○徒歩・自動車・バイク・自転車・その他()
2	○徒歩・自動車・バイク・自転車・その他()
3	○徒歩・自動車・バイク・自転車・その他()
4	徒歩・自動車・バイク・自転車・その他(車イス)
5	徒歩・自動車・バイク・自転車・その他()
6	
7	
8	

徒歩や自動車などの避難方法

防災となり組

■最寄りの「防災となり組」

大規模災害が発生した場合、となり・近所の助け合いが重要となってきます。
このようなとなり・近所の助け合いを「防災となり組」と呼んでいます。
あなたの「防災となり組」となり得る方を記載してください。

「防災となり組」① 四万十 次郎 さん (自宅から 50m 程度)
「防災となり組」② 四万十 三郎 さん (自宅から 100m 程度)
「防災となり組」③

住宅耐震状況

■ご自宅の情報を記入してください。

ご自宅	築年数又は建築年	耐震診断	耐震補強工事
	築 37 年 (昭和)・平成 50 年建築	実施済み・実施していない	実施済み・実施していない

家具固定の状況

■家具転倒防止の実施状況を記入してください。

実施済み・実施していない	実施済み・実施していない
--------------	--------------

避難上の心配事

※その他不安なこと等があれば記載してください。(自由記入)

・母(ハル子)が車イスを利用しているため、自力での避難ができない。また、避難の介助があっても避難経路上に勾配が急な所があり、車イスでの避難が困難である。

・太郎、花子は仕事で家を空けることが多いので、不在中に発生した場合に不安が残る。

支援可能な方の有無

■ご家族で現役またはOB、OGで医師、薬剤師、保健師、社会福祉士、児童福祉司、作業療法士、ヘルパー、警察、消防士などの有資格者がいらっしゃいましたら、その情報を記載してください。

・花子が現役ヘルパーである

個人情報
情報提供先

■個人情報保護及び共有について

世帯別津波避難行動調査で入手した個人情報は、関係機関以外には使用しません。
また、この情報は役場内関係部署の他、下記の関係機関で情報共有を行い、各機関での今後の防災計画等に反映していきたいと考えています。

役場	警察署	消防署	区長	民生委員	消防団	社会福祉協議会

自宅から避難経路記載例

自宅から避難場所
までの避難経路

第1候補

たばこ乾燥場

第2候補

小規模多機能おおがた

自宅

避難タワーの設置予定



班別懇談会 プログラム概要

(所要時間：90分～120分)

1. 揺れ（住宅耐震・家具固定の必要性）について

動画：「E-ディフェンス」

2. 地震・津波脅威の再確認

DVD「東日本大震災に学ぶ～津波の脅威～」

3. 避難道と避難場所及び整備計画の確認

～質問及び意見交換～

4. 戸別津波避難カルテづくり

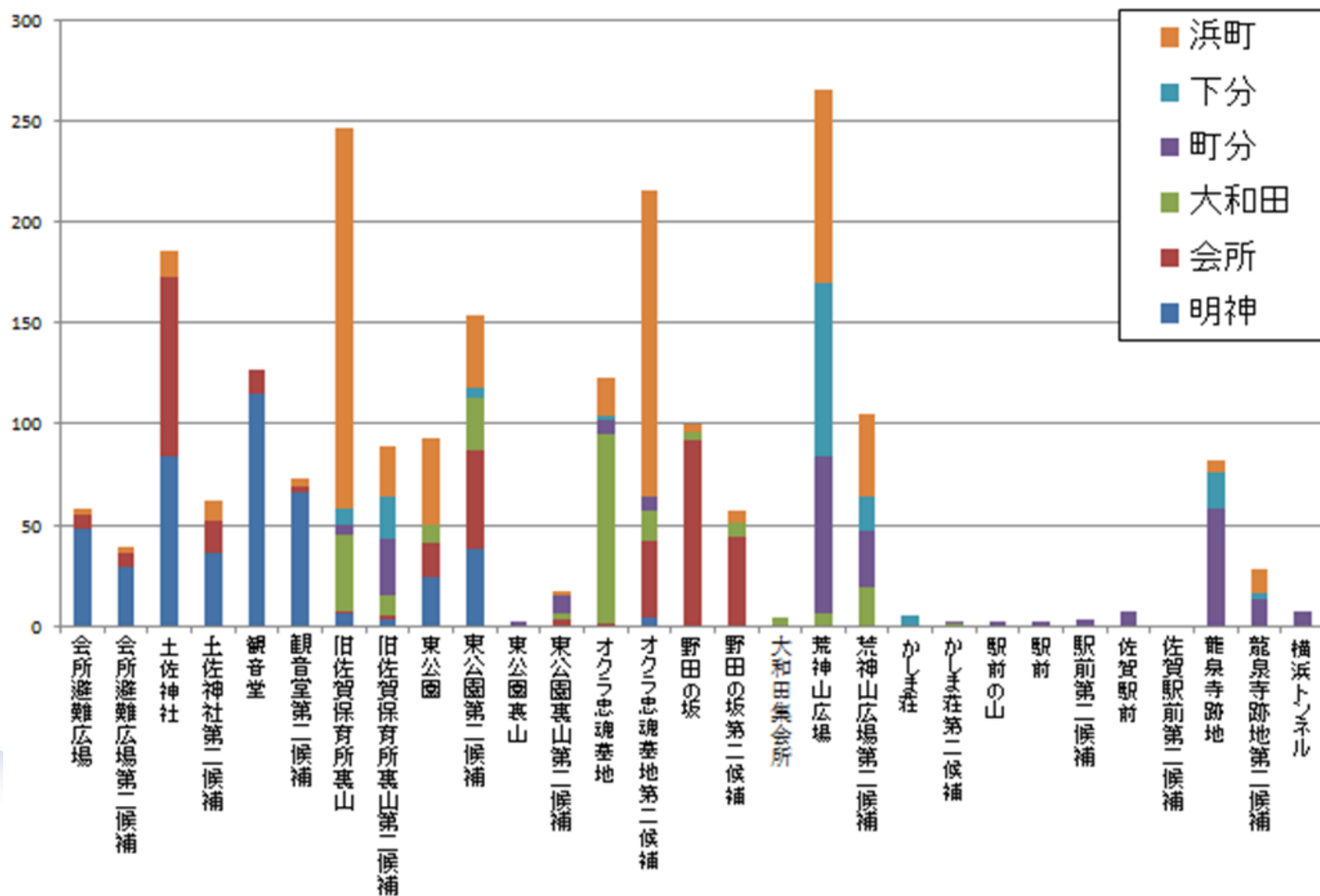
※事前に各地区の役員及び班長と事前の打ち合わせ会を実施

※カルテは事前に班長が各戸配布して記入できる部分は事前に書いてもらう

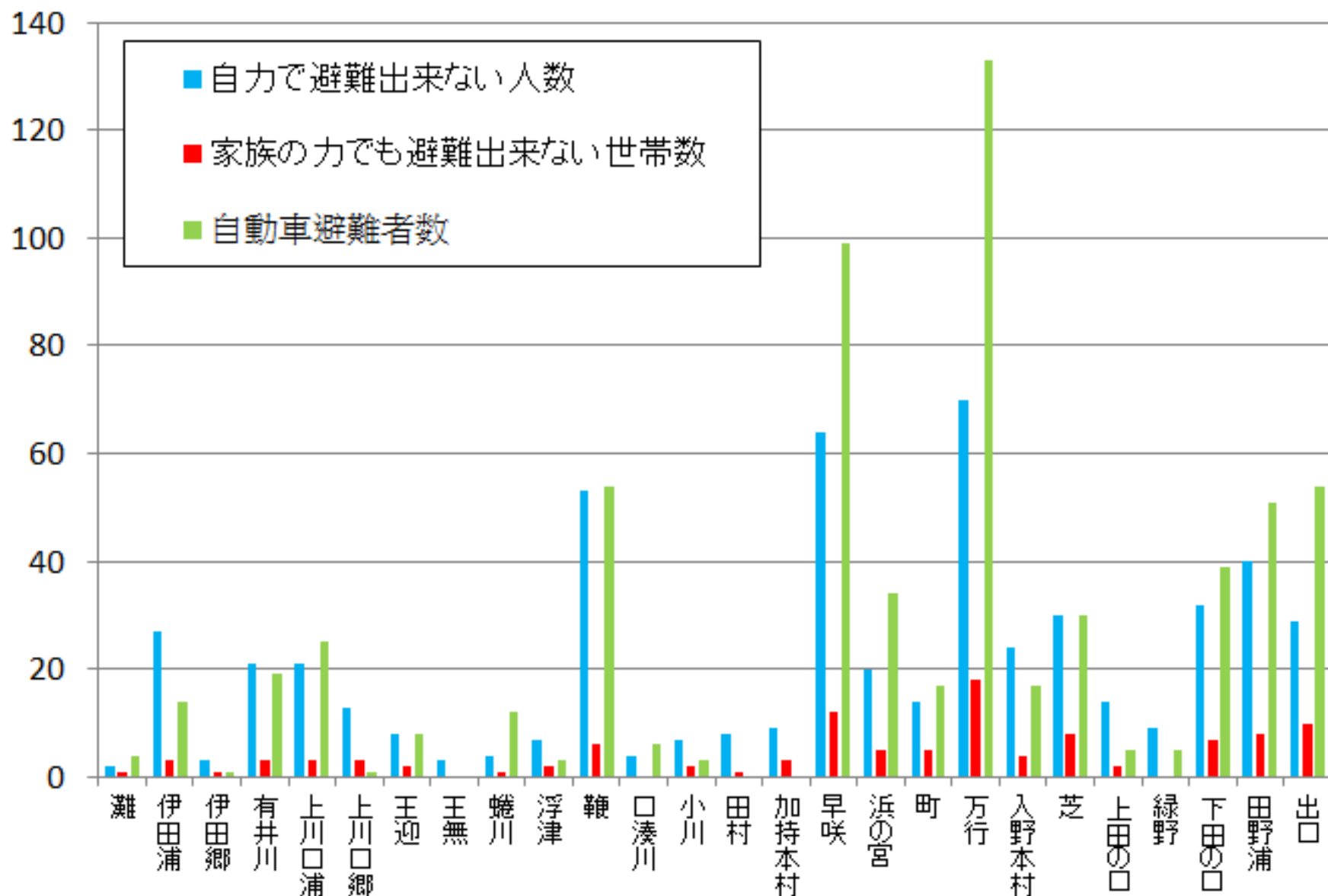
戸別津波避難カルテを
対象となる**全世帯 3,791世帯分** 収集
(津波浸水の可能性40集落、283班)



佐賀地区中心部の避難場所と避難予定人数

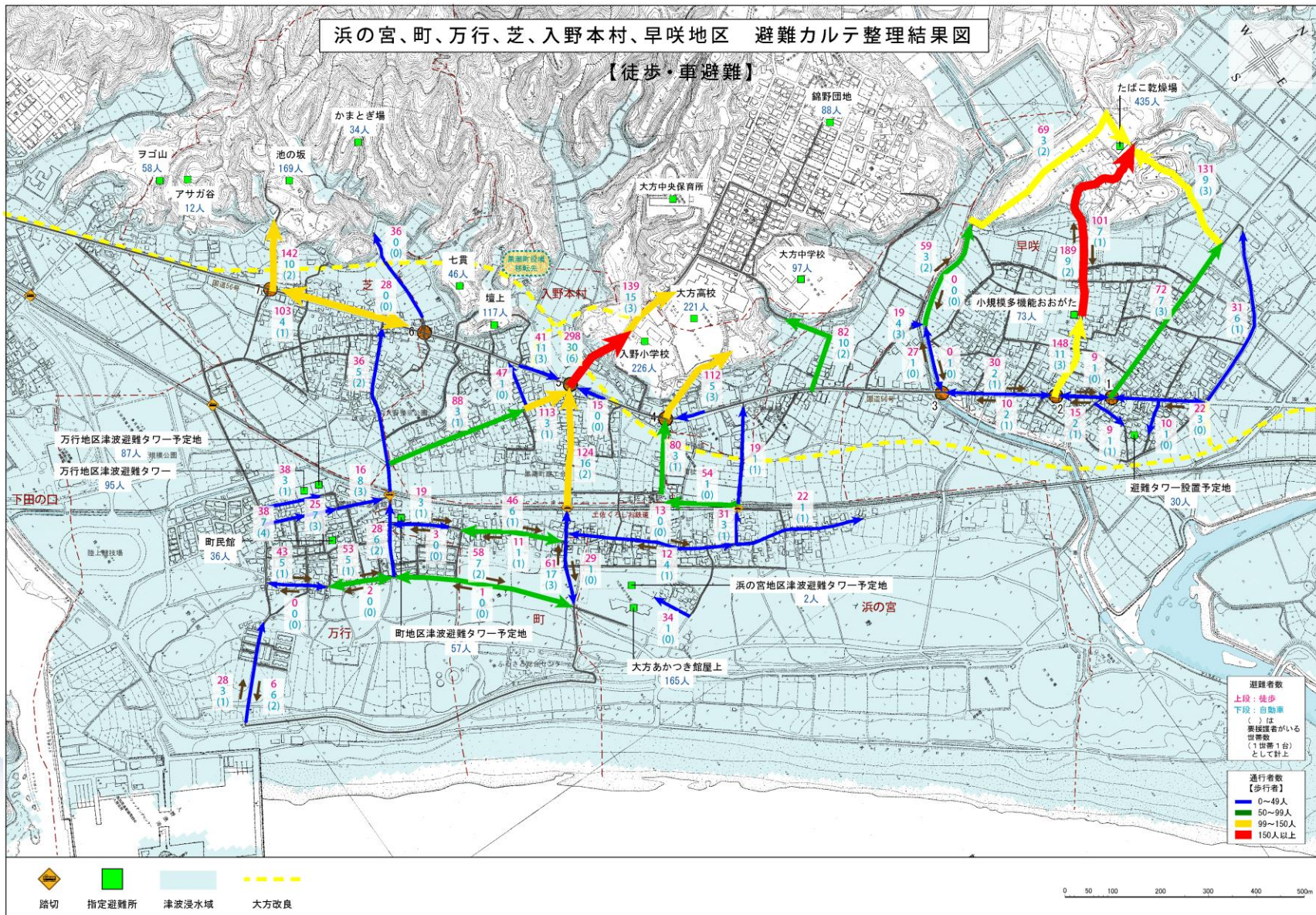


大方地区中心部の避難困難者数と自動車避難数



11月5日は
津波防災の日

大方中心部の避難予定ルート図



「犠牲者ゼロ」を目指す地震対策②

地区防災計画

行政主導の防災対策には限界がある

防災の日常化へ向けたシフトチェンジの必要性

地域住民が自らの命と自らの地域を守り、
自ら作成する地域特性を反映した

我がこととして感じられる**手作りの防災計画**

地区説明会開催状況



地区アンケート集計結果(10月24日現在)

	作成を 開始する	詳細に 検討したい	作成しない	未回答
全61集落	24集落	17集落	3集落	17集落
うち浸水域40集落	18集落	10集落	2集落	10集落

地区防災計画（フォーマット案）

1. 基本的な考え方

2. 地区の特性

- ・ 地区の脆弱性調査
- ・ 戸別津波避難カルテのチェック
- ・ 災害別に避難場所の確認
- ・ 自動車避難のルール

3. 防災活動の内容

- （1） 防災活動の体制（班編成など）
- （2） 平常時の活動
- （3） 発災直前の活動
- （4） 発災時の活動（初動・応急期）
- （5） 市町村、消防団、各種地域団体、ボランティア等との連携

4. 実践と検証

- （1） 防災訓練（避難訓練・救命訓練）
- （2） 戸別津波避難カルテの管理更新（津波浸水危険区域のみ）
避難行動要支援者個別計画

5. 地域コミュニティ継続計画（CCP／community continuity planning）

- ・ 復旧・復興期の活動
- ・ 仮設住宅の場所や規模
- ・ コミュニティ再生方針

地区防災計画策定のスケジュール

2014年
7月～10月

- 地区説明会（14会場）
- 担当者打ち合わせ
- 地区防災計画策定に関するアンケート

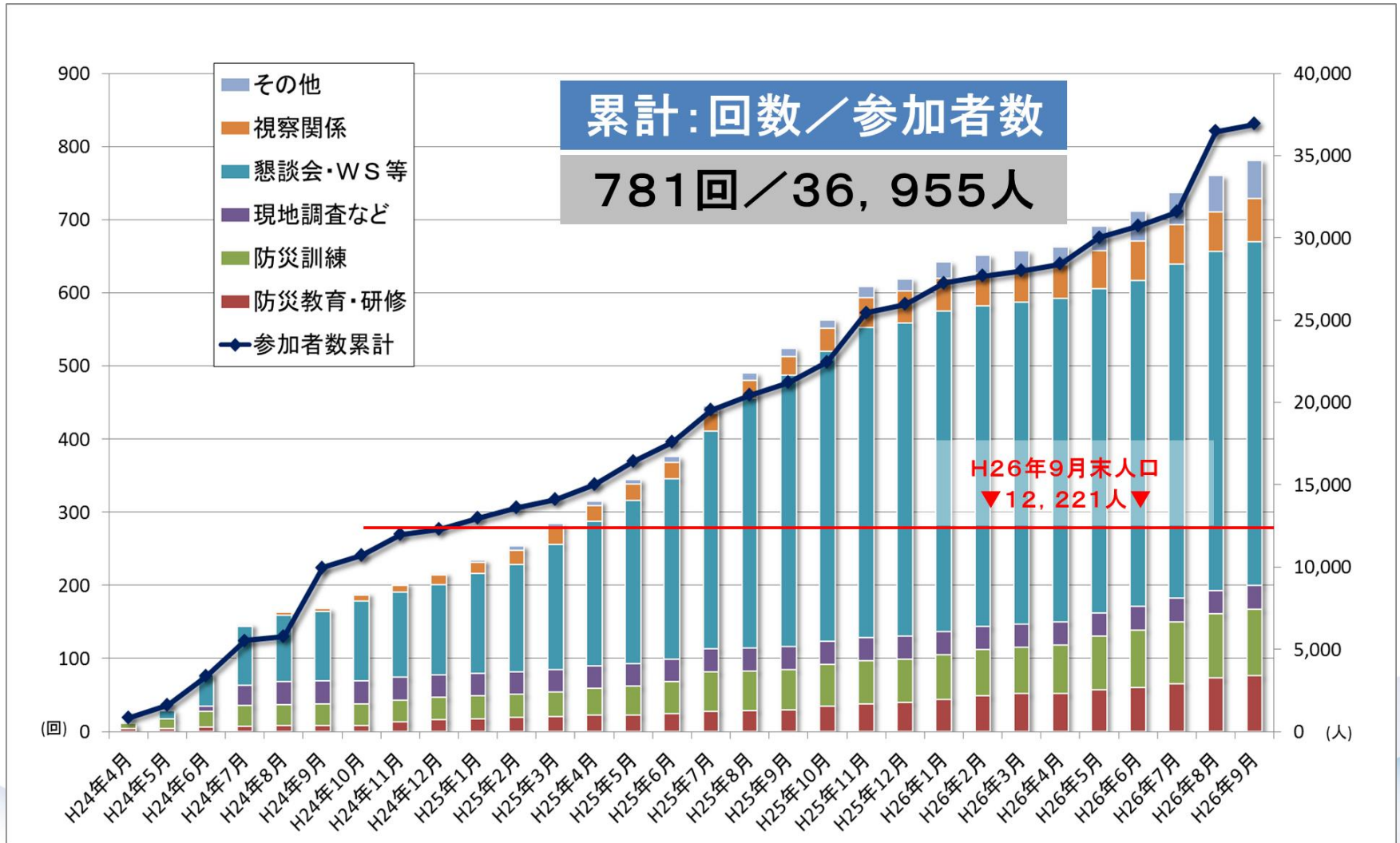
2014年11月～
2015年12月

- 地区ワークショップ
- 地域担当職員・地区担当者打合せ
- 中間報告会

2016年
1月～3月

- 地区合意
- 地域防災計画へ反映

防災活動の実施回数と参加人数(累計)





ふるさとを、
次の世代へ、
しっかりと。

WE CAN PROJECT

毎日食べたい、日(ひ)常食。

もしものときこそ、いつものおいしさ。